

どんぐり



保育園班

○防災教室の準備段階・打ち合わせ

まずどこに発表に行くかということでしたが、四日市商業に近いということでどんぐり保育園に決めました。そして4月から作業を開始しました。

1. パワーポイントの作成

園児向けということで文字をすべてひらがなにしたり、写真を多く使ったり、キャラクターの画像を入れたりすることで園児に興味を持ってもらうように工夫しました。また、長くなると園児の集中が切れるので、短めに作成しました。

2. 打ち合わせ

保育園に電話し、発表を取り付けたり、日程を決めたりと、自分たちで発表までの作業を行いました。そのなかで実際にどんぐり保育園に行き、どのようなことをするかを先生方と話し合いをしました。先生方の前でプレゼンテーションをして、園児に対してのしゃべり方や、接し方を教えていただき、改善していきました。

3. 新聞紙でつくるスリッパの折り方の予習

本番で、園児と実際にスリッパを折るという計画を立てました。プレゼンとして話しているだけでは園児が飽きてしまうからです。そこでインターネットで調べて5人ともスリッパの折り方を覚えめました。

○防災教室の発表

10月23日（木曜日）にどんぐり保育園に発表に行ってきました。

大まかな内容としては、防災教室と題して

1. パワーポイントを使って、地震について

地震に関連したクイズ

2. リュックやチョコレートなど実物を使っての避難袋を園児と一緒に作成

3. 新聞紙のスリッパづくり（本番は画用紙を使って）

でした。



○発表を振り返って

発表の前にはリハーサルを行い、準備万端で臨みましたが緊張しました。しかし実際に始めてみると、園児たちから話してくれたりなど園児たちに溶け込んで自然な流れで進めやすかったです。パワーポイントを使ってのクイズでは、園児たちが元気に答えてくれました。また園児と避難袋を作成する時間では、チョコレートやラジオ、おもちゃを持っていったことで園児に実際にリュックサックの中に物を入れてもらうなど園児が飽きることなく最後まで楽しんでもらうことができました。スリッパを一緒に作る時間では、はじめは一人一足の予定でしたが、園児に好評で一人二足作ることができ、園児にとっても喜んでもらうことができました。最後に園長先生に避難袋について園児の前で質問されたときには、5人とも「なぜいるのか」ということをしっかり予習していったので、スムーズに答えることができ、臨機応変に対応できました。4月から作業をしてきましたが、園児と打ち解けることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

